

令和5年度 学校経営方針

佐世保市立大野小学校
校長 舩田 喜一郎

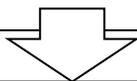
1 本校教育方針

〈長崎県教育方針〉

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

本県教育が目指す人間像

- I 創造性に富み、自立した人間
- II いのちを重んじ、心豊かでたくましい人間
- III 郷土及び国家を担う責任を自覚し、その形成と発展に主体的に参画する人間
- IV 我が国と郷土の伝統・文化や自然を誇りに思い、未来を創造し国際社会に貢献する人間

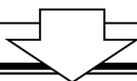


〈佐世保市教育方針〉

新しい時代を生き抜くためのたくましさや豊かな心をはぐくむとともに、郷土佐世保を愛し、国家及び国際社会に貢献する市民を育成する。そのため、学校・家庭・地域社会が一体となり学びの社会の実現をめざし、人としての尊厳及び責務を重んじた教育の推進に努める。

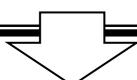
努力目標

- 1 確かな学力と豊かな心を育成する特色のある学校づくりの推進
- 1 望ましい教育環境の整備・充実
- 1 郷土愛をはぐくむ自然愛護と環境教育の推進
- 1 心豊かな社会をつくる生涯学習の推進
- 1 明るい社会をつくる人権教育の推進
- 1 伝統・文化の継承及び発展と国際理解の推進
- 1 健康で活力にみちた生涯スポーツ活動の推進



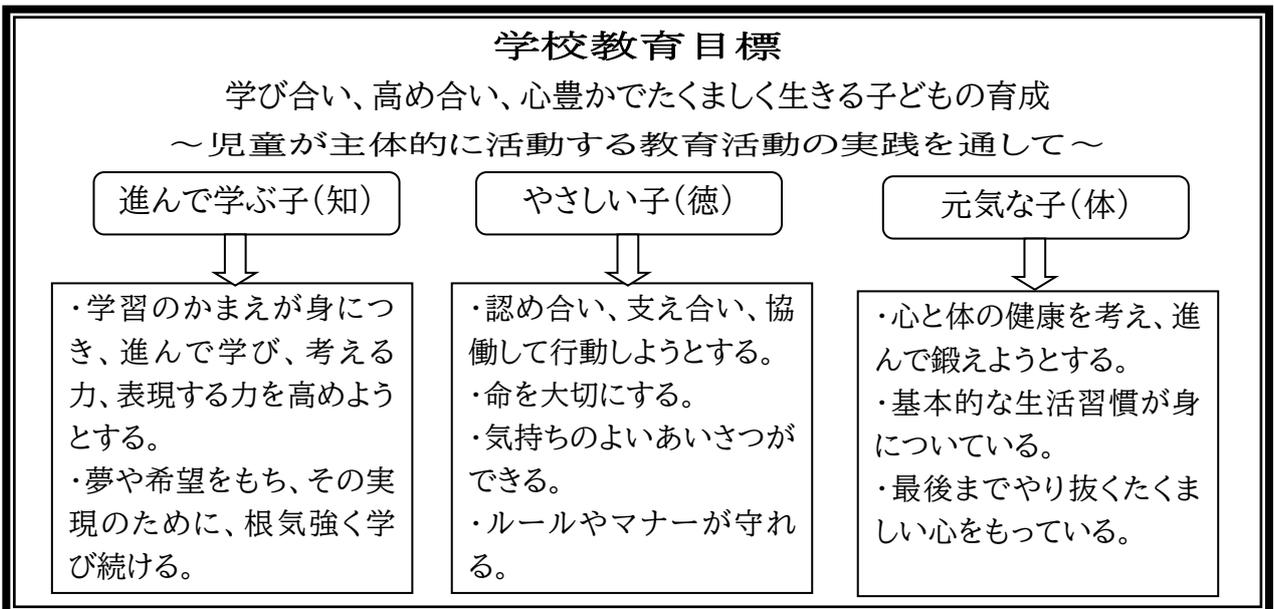
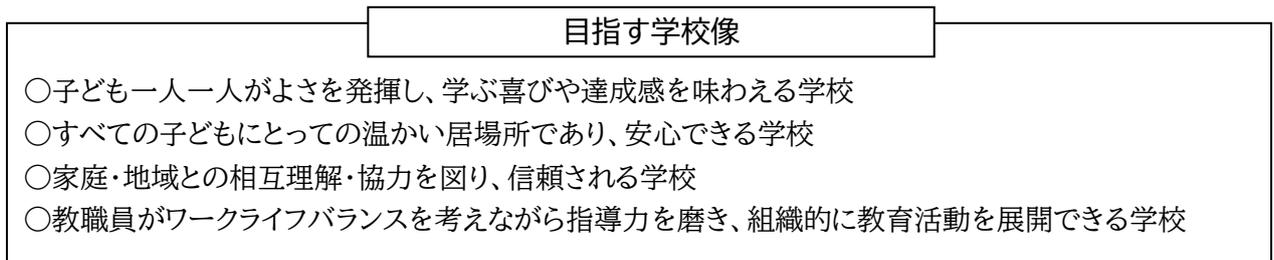
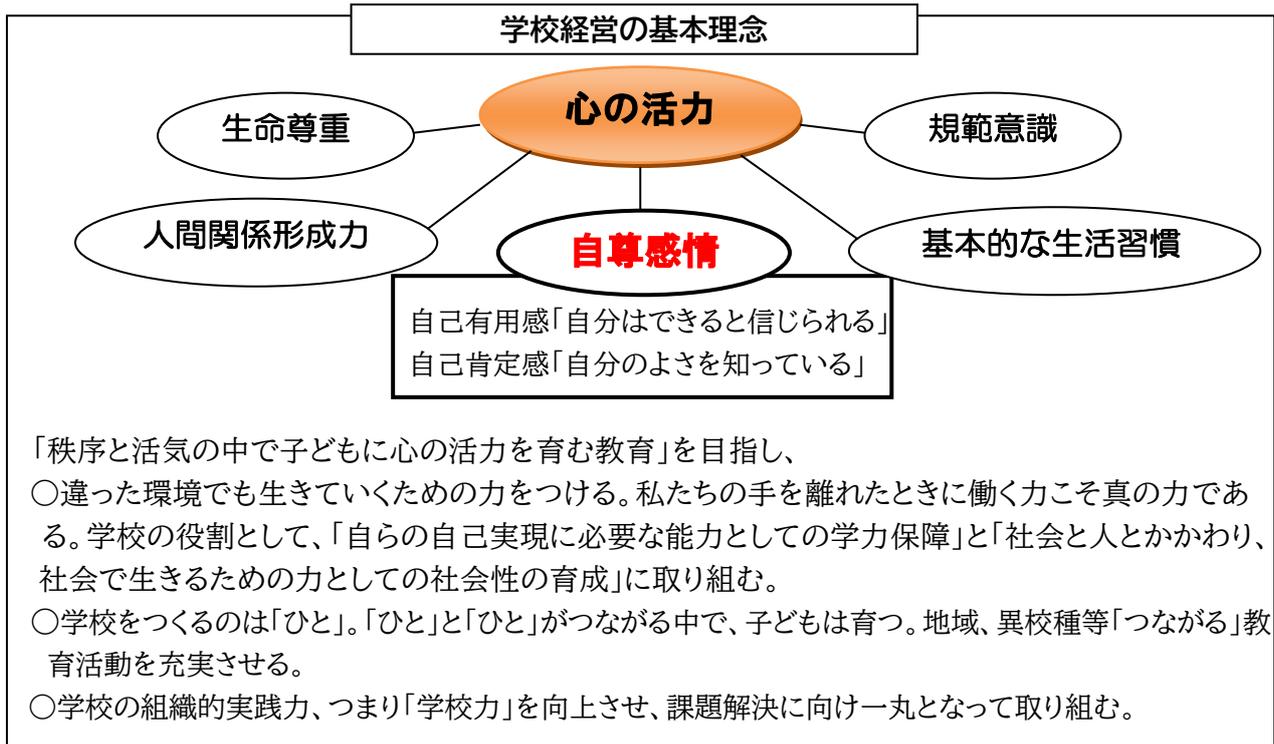
大野小学校教育方針

憲法・教育基本法の本質並びに長崎県・佐世保市の教育方針に基づき、地域と児童の実態をふまえ、特色ある学校づくりを推進し、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな、心身ともに健康な児童を育成する。



熱 愛 誠

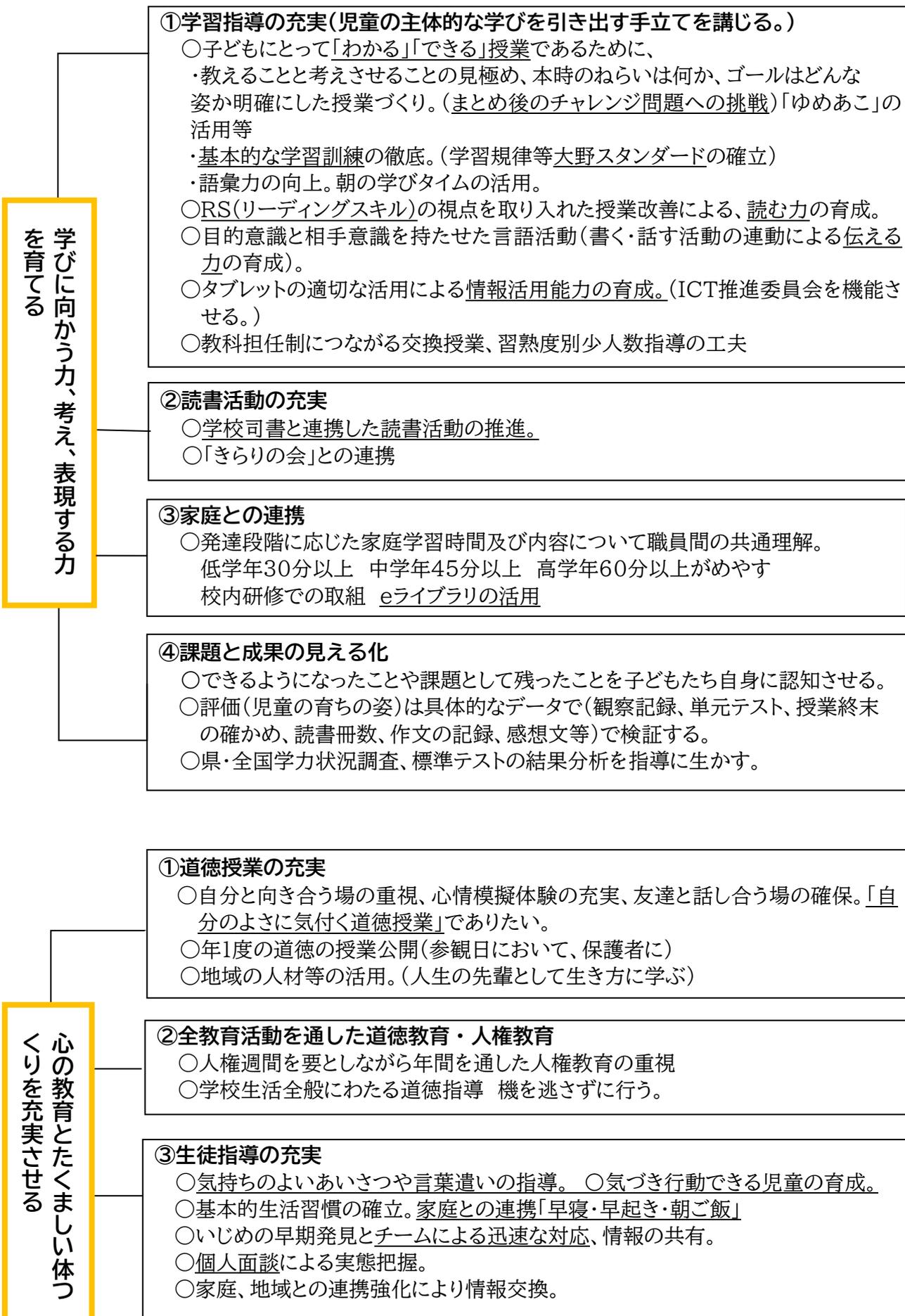
2 学校経営方針と学校教育目標



学校教育目標実現のために

- 学びに向かう力、考え、表現する力を育てる
- 心の教育とたくましい体づくりを充実させる
- 自ら磨き、動き、示す教師を目指し、組織力を高める
- 家庭・地域との連携を活性化

3 重点的な取組



自ら磨き、動き、示す教師を目指し、組織力を高める

④特別活動の充実（児童の主体性を引き出すために）

- 学校行事において児童にどのような力を身に付けさせるのかを明確にする。
- 学級会、児童会活動の充実を図る。
- 他学年と交流する機会を増やす。

⑤安全・安心な教育環境の整備

- 校舎内外ともに美しい学校をつくる。
- 教師自身の正しく、美しい言葉遣い。
- 奉仕活動の充実（教師自ら子どもとともに働く姿勢を見せる）
- 定期的な安全点検。
- 季節や行事等を採り入れた掲示計画。

⑥養護教諭と連携した保健指導の充実

- 生活習慣チェックカードの継続
- 新型コロナウイルス感染症対策の継続

⑦食育の充実

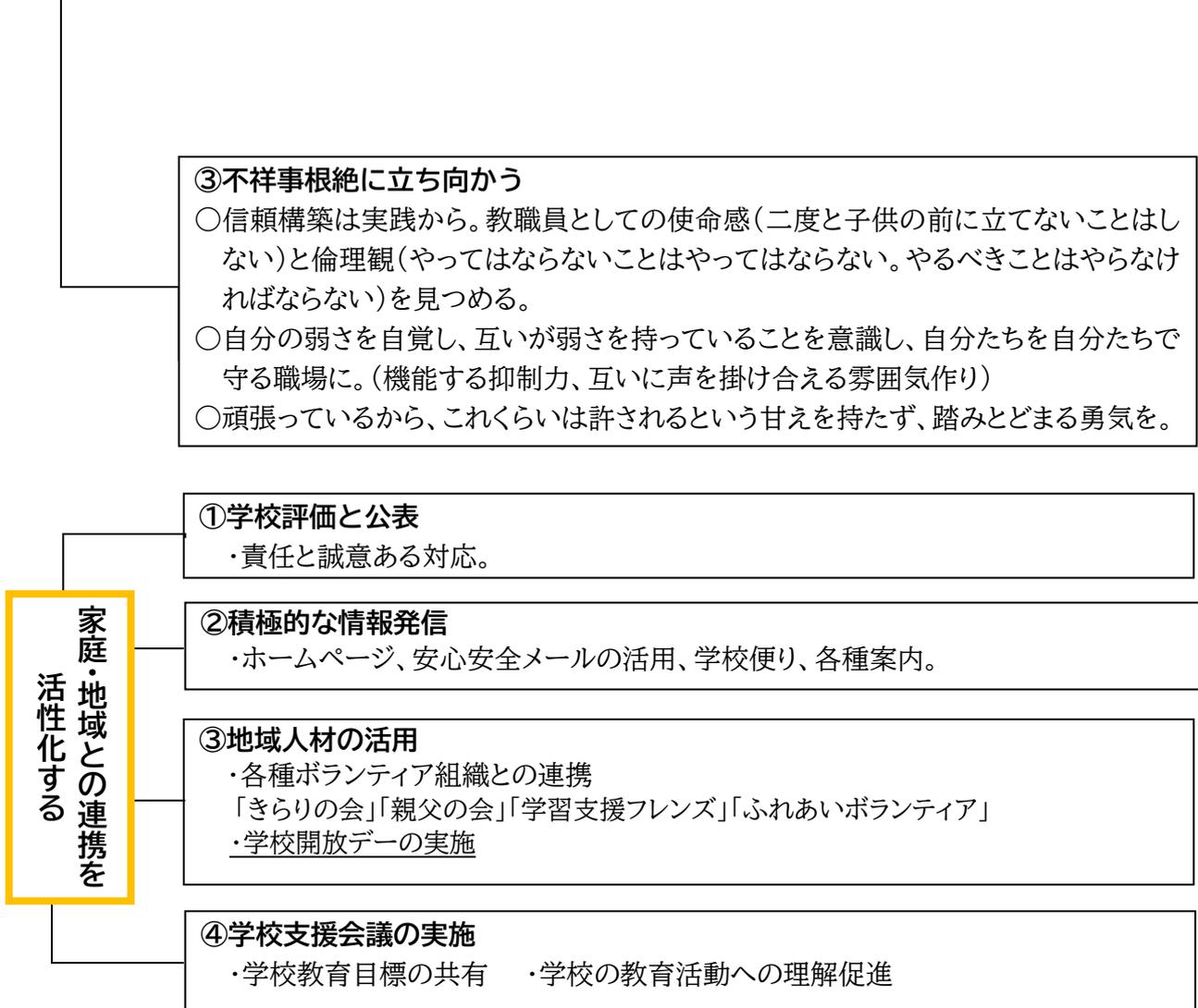
- 適切な食物アレルギー対応による誤飲・誤食の防止
- 栄養教諭と連携した食育指導時間の確保。

①資質向上に努める教師に

- 指導者自身がおもしろい、楽しいと充実感を感じる実践を。
指導者の楽しさとは→○子どもの変容 ○学力の定着 ○学ぶ喜び・感動の共有
 - ・教材の持つ魅力を生かす（飽くなき教材研究）
 - ・終末の「わかった！できた！」姿のイメージ
 - ・やってみたいことは何でもチャレンジ（報・連・相は厳守）
 - ・自分の得意分野を伸ばそう、生かそう
- 指導者の背中で子どもを育てる。教師は最大の教育環境であることを自覚する。
 - ・子どもと共に子どもの成長を喜ぶ。
 - ・子どもの心に寄り添う。（苦しさ・辛さもまず共感、そして励まし）
- 指導者として身に付けたい力
 - ・指導力→わかる・できる授業 業績管理と関連させた指導法の改善。
 - ・コミュニケーション力→子どもだけでなく保護者・地域とも。
 - ・見抜く力→子どもの成長・気持ちの変化、子どもの人間関係、家庭の変化。

②働きがいのある職場づくり

- あたたかさの中に厳しさをもつ職場づくり
- 働き方改革の促進による超過勤務の縮減
- 互いに信頼し、互いのよさを認め合い、互いの力を最大限発揮できる職場に
→教師自身の自尊感情を高め合う
- 課題やクレームへの解決には組織的な対応が大前提。（各種校内委員会の機能充実）
- 笑い声が響く。会話がある。相手の思いを察し、常に手がさしのべられ、声かけがなされる職場を目指したい。健康管理に十分に留意していただきたい。



特別支援教育の充実

- ・子どもの実態に応じた配慮
- ・特別支援教育は個に応じた指導という視点において教育の原点
- ・特別支援コーディネーターを中心に連携した取組を
- ・指導には状況に応じて複数で関わる

4 おわりに

○学校教育の「核」は『授業』である。

「よい授業」をすると、「よい子ども」が育ち、「よい学級・よい学校」ができる。

「よい授業」→○子どもを主体的にさせる。
 ◎子どもに多くの体験をさせる。
 ◎わかる喜びを味わわせる。
 ◎学び方を身に付けさせる。

「よい子ども」→○主体性がある。 ○考える力がある。
 ○尊ぶ心がある。 ○表情がさわやか。

「よい学級・よい学校」→・学ぶ意欲が感じられる子どもの集団
 ・師弟間に敬愛と慈愛の念がある。
 ・子ども同士に信頼と友情がある。
 ・集団としての秩序が確立されている。